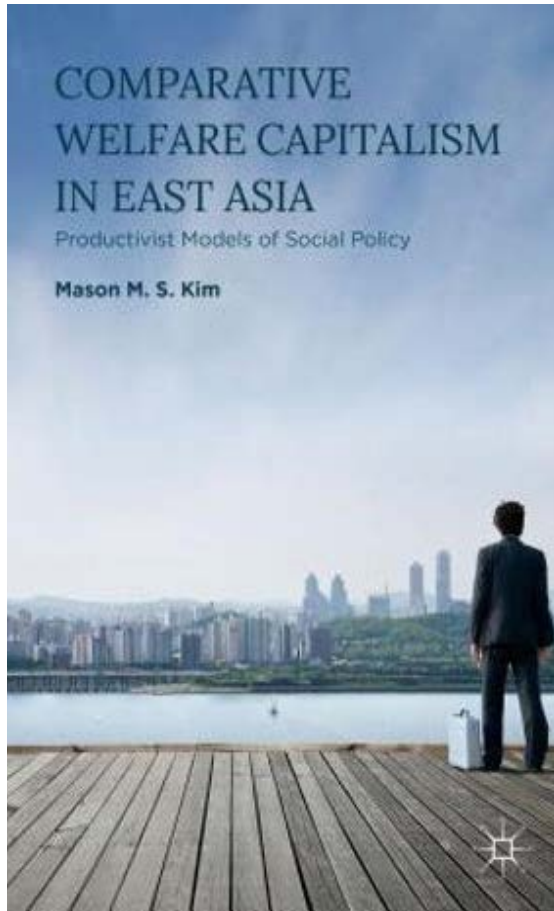


# 生産主義的福祉資本主義： 類型と展望

**Myoung-Shik (Mason) Kim, Ph.D.**

Assistant Professor of International Studies  
Spelman College, USA

February 2, 2019



## A. 生産主義的福祉

- 東アジアには社会保険と福祉政策は労働生産の要請より下位に立っていた。
  - 基本的には、東アジアにおける社会政策は経済／工業生産力を全体的に強化させるための経済政策である。
  - この「経済を優先する」考え方があったため、人材育成（例えば、教育や職業訓練など）は政策の中心的な役割を果たしたが、公的な所得再分配と社会的サービスの拡大があまり見えなかった。

## B. 制度的な多様性による生産主義的福祉の類型

- 社会保険と公的扶助（リスクプーリング）は日本や韓国、台湾に顕著である。
- 強制的個人貯蓄施策（自助）はシンガポールやマレーシア、香港で主導的な役割を果たしている。
- 中国とタイは意図的に社会保険と個人貯蓄を混合したシステムを追及している。



# 東アジアにおける制度別の社会福祉

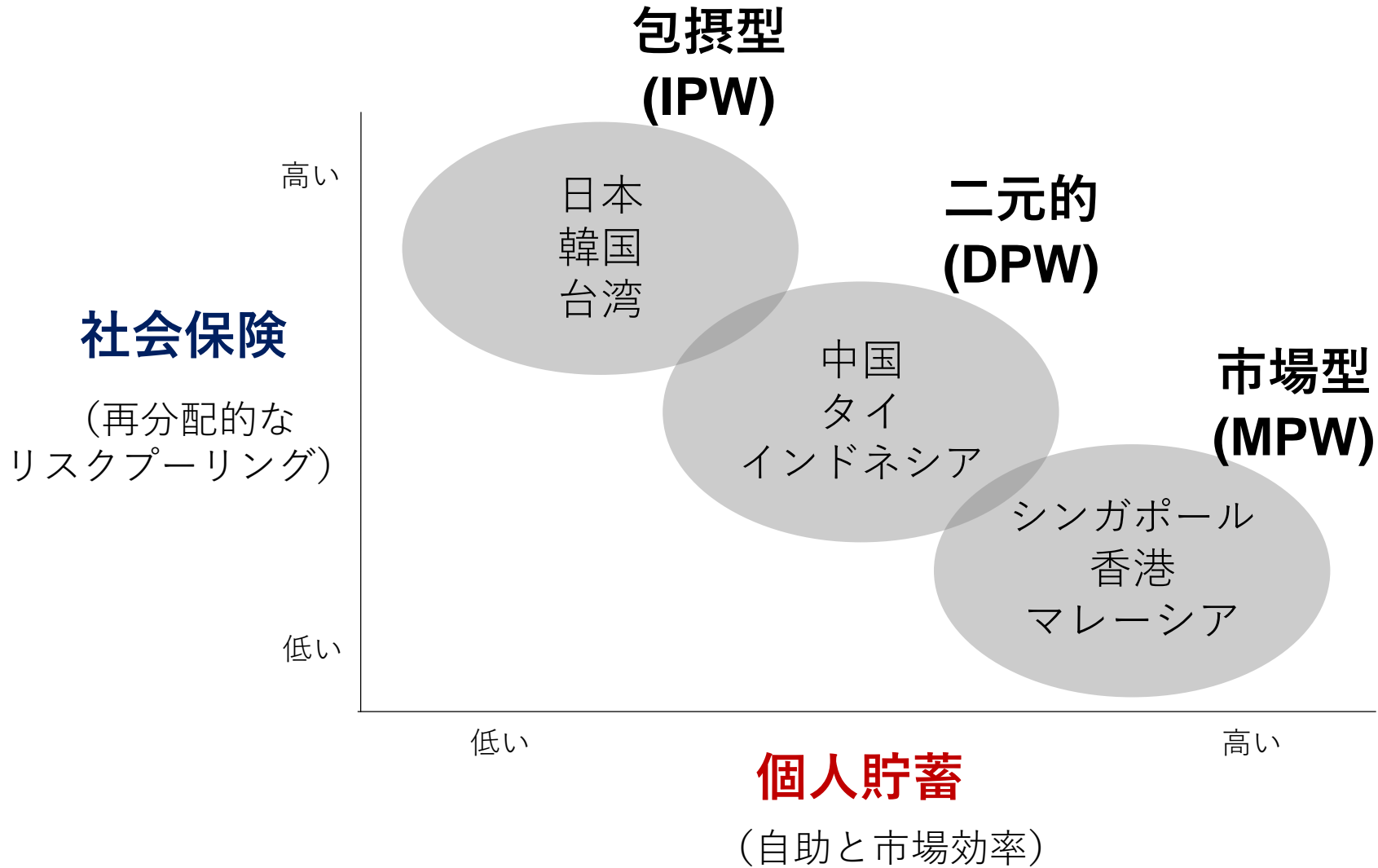
	老齡	健康	失業	労災
日本	社会保険	社会保険	社会保険	社会保険
韓国	社会保険	社会保険	社会保険	社会保険
台湾	社会保険	社会保険	社会保険	社会保険
フィリピン	社会保険	社会保険	n/a	社会保険
中国	社会保険 & 個人貯蓄	社会保険 & 個人貯蓄	社会保険	社会保険 & 雇用主責任
タイ	社会保険 & 個人貯蓄	社会保険	社会保険	雇用主責任
インドネシア	個人貯蓄	社会保険	n/a	社会保険
香港	個人貯蓄	n/a	n/a	雇用主責任
シンガポール	個人貯蓄	個人貯蓄	n/a	雇用主責任
マレーシア	個人貯蓄	個人貯蓄	n/a	雇用主責任

\* Source: U.S. Social Security Administration, *Social Security Programs throughout the World*

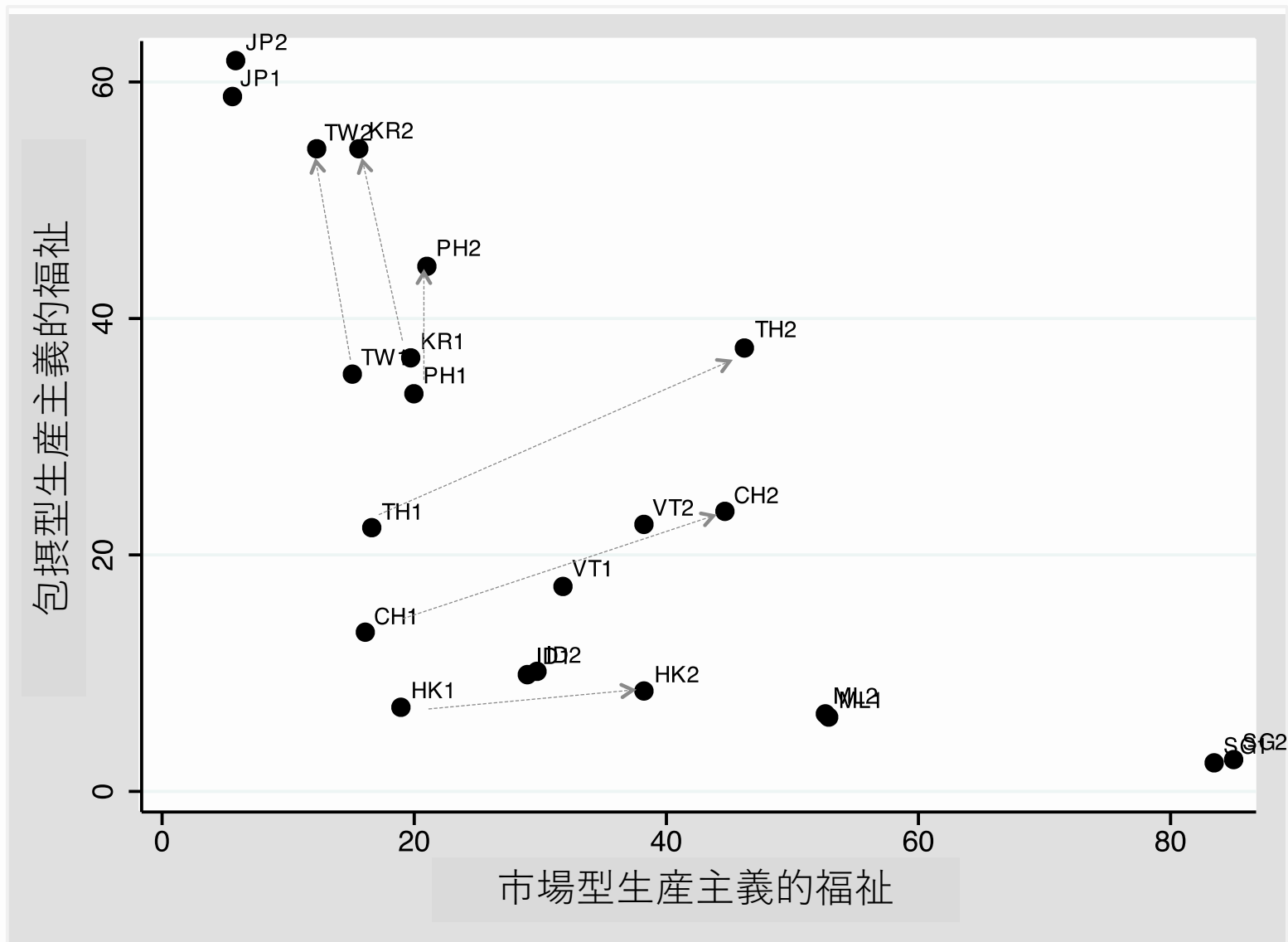
## C. 研究課題

- 生産主義は主流になっても、社会保険制度が組み込まれた、包摂型のリスクプーリング制度を採用した国、と個人貯蓄を促進させる市場順応型の自助制度を採用した国、異なるアプローチが発展してきたのはなぜか。

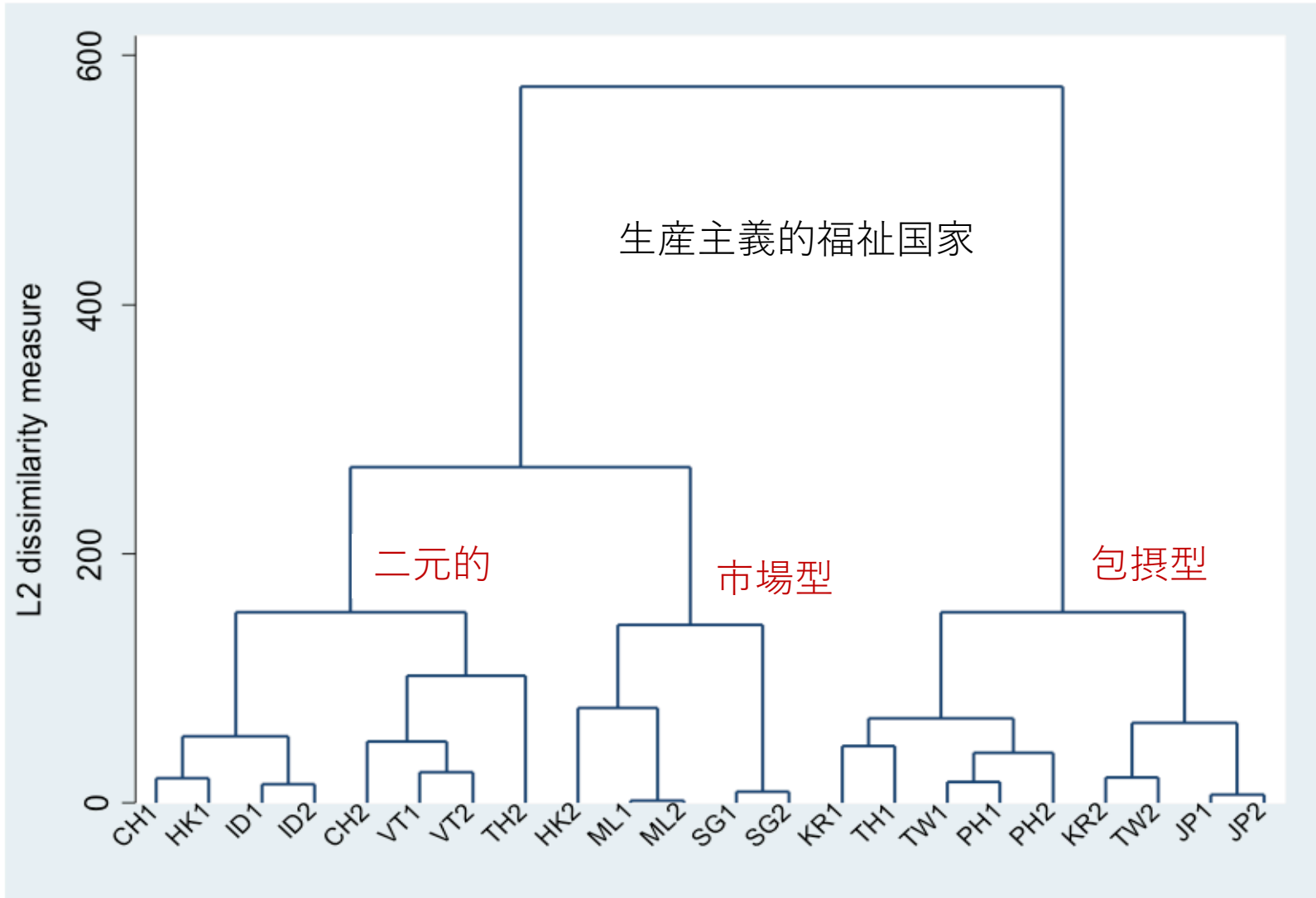
# 生産主義的福祉の3類型



# 生産主義的福祉の3類型



# 生産主義的福祉の3類型





## A. 経済的な開放度

- 各国の外国直接投資と貿易にさらされた程度は、それらの間に相違を生み出した主な要因である。
  - － 市場順応型（または開放型）経済（例えば：香港、シンガポール）はグローバル市場における競争力を維持する圧倒的な必要性があるため、自助政策はより実行可能な社会保障の手段である。
  - － 市場矯正型（国家を中心に置く）経済（例えば日本、韓国）にはグローバルな市場アクターからの影響がより弱くて、それゆえに経済成長に重要である産業労働者の保護だけに注目を置いている。

# 東アジアへの外国直接投資（FDI）

国内総生産の%

	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
日本	0.03	0.05	0.06	0.00	0.22	0.11	0.13	0.12	0.39
韓国	0.01	0.23	0.28	0.32	2.05	1.52	0.87	0.30	1.11
フィリピン	-0.33	0.04	1.20	1.99	1.84	1.61	0.54	1.93	3.21
中国	.	0.54	0.97	4.88	3.48	4.55	3.99	2.19	1.37
タイ	0.59	0.42	2.86	1.22	2.66	4.34	4.32	2.22	1.75
インドネシア	.	0.36	1.03	2.15	-2.76	2.92	2.03	2.30	2.11
ベトナム	.	0.00	2.78	8.59	4.16	3.39	6.90	6.11	6.30
マレーシア	3.81	2.23	5.30	4.71	4.04	2.73	4.27	3.33	3.02
シンガポール	10.39	5.47	15.42	13.12	16.19	14.20	23.30	23.21	19.65
香港	.	.	.	.	41.07	22.56	36.17	58.52	35.85

\* Source: World Bank (2017) World Development Indicators

# 東アジアにおける貿易

国内生産の%としての輸出と輸入

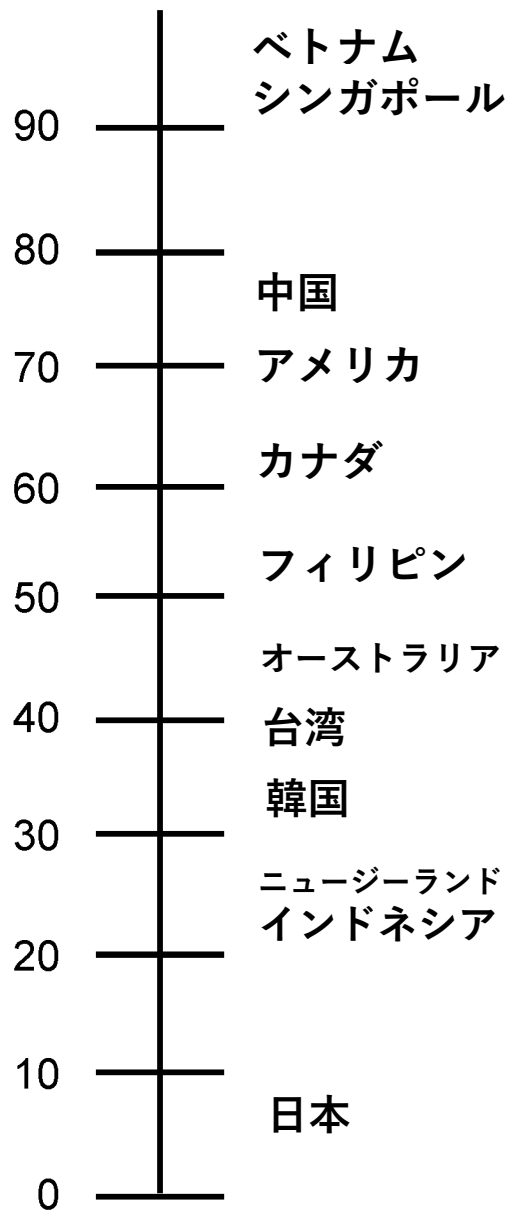
	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
日本	27.2	24.6	19.7	16.7	19.8	26.5	28.6	35.6	.
韓国	65.6	53.2	51.3	52.8	68.0	71.2	95.7	83.7	80.8
フィリピン	52.0	45.9	60.8	80.5	104.7	97.9	71.4	62.7	70.7
中国	12.4	20.7	24.3	34.3	39.4	62.2	48.9	39.5	37.8
タイ	54.5	49.2	75.8	89.8	121.3	137.9	127.3	125.9	.
インドネシア	52.7	44.7	52.9	54.0	71.4	64.0	46.7	41.9	39.5
ベトナム	.	.	81.3	74.7	111.4	130.7	152.2	178.8	200.3
マレーシア	113.0	105.1	146.9	192.1	220.4	203.9	157.9	133.6	135.9
シンガポール	411.0	304.4	344.3	345.7	366.1	422.7	373.4	329.1	322.4
香港	178.0	197.8	226.0	256.9	247.7	342.7	404.8	389.4	375.1

\* Source: World Bank (2017) World Development Indicators

## B. 政治的圧力

- 経済的な要因は生産主義的福祉の相違を生み出したが、各国の政治的な状況はその多様性を拡大させてきた。
  - － 民主主義は市民の政治的過程における行為性を高めて、権力の本質を支配から説明責任へと変える。
  - － 例えば、韓国や台湾、フィリピンで協働による民主的な選挙が導入されると、政権与党は大衆の支持を得るための手段として、社会保険施策を採用または拡充した。→「批判的な市民」の登場





# 国内の政治家に対する 満足度 (回答者の%)

\* Source: 1999-2002 WVS (Wang, Dalton, & Shin 2006, 143)

## A. 疑問点

- 生産主義的福祉とその3類型は、これからも東アジア各国の社会福祉政策の発展を分析する時に、重要なモデルとして存続するであろうか。

## B. 課題

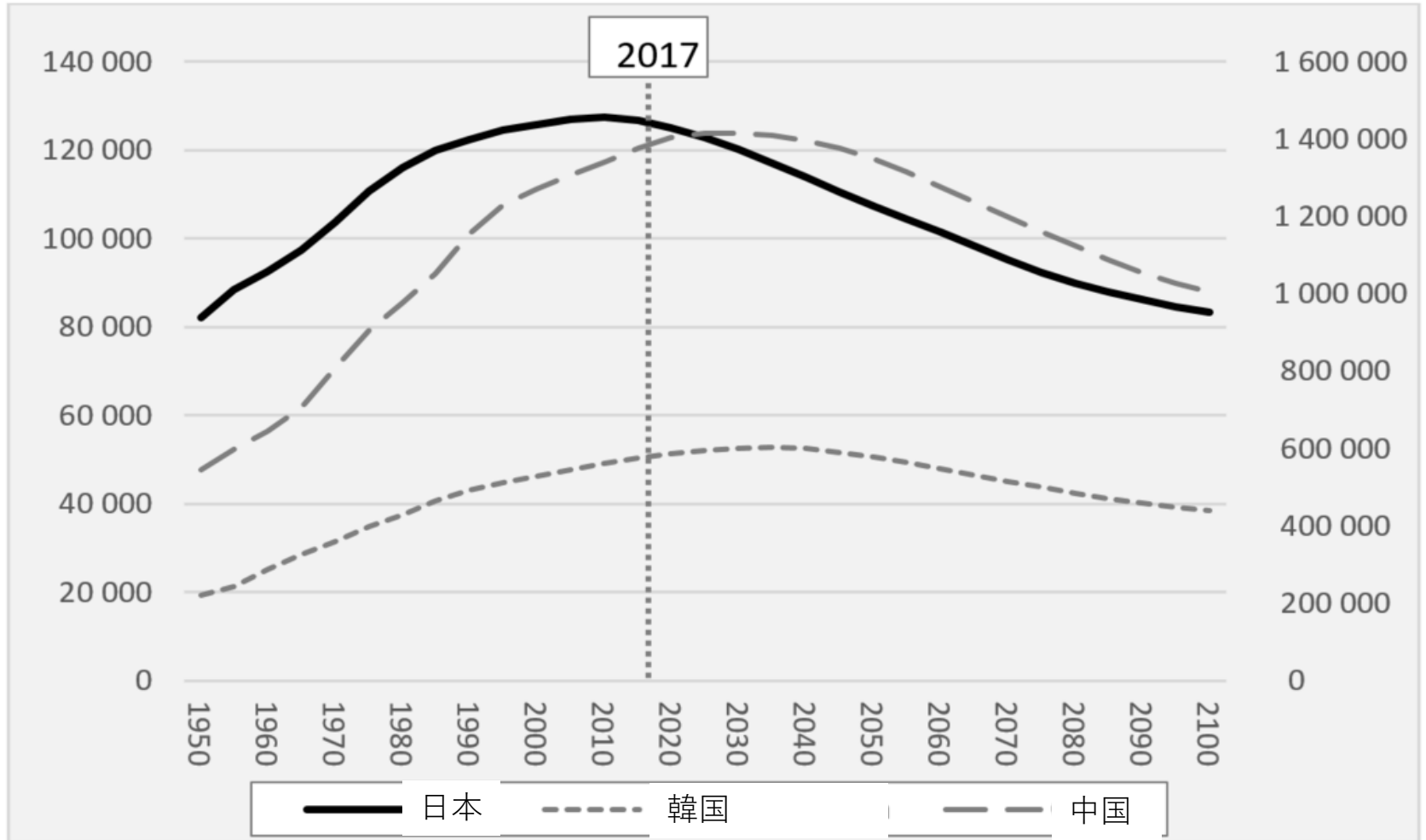
- 東アジア各国における人口構成の急速な変化
  - － 多くの公共政策は、工業化の時代のように若く健康で教育のある労働力が安定的に供給されることを暗黙の前提としてきたため、人口構成の急速な変化は東アジア福祉国家の社会経済的基盤を脅かす。
  - － 長期的な低出生率や老人介護の需要増大という、いずれも社会的財源と経済成長を実質的に圧迫してきた、問題の解決策を求めようとした時に、東アジアの社会政策の理論上の焦点はすぐに変化した。
  - － 問うべきは、東アジア福祉国家が系統的な変異を保ちつつ別のタイプの福祉国家に進化し直すかということである。

# 東アジアにおける人口推移

(実数と予測)

日本と韓国

中国

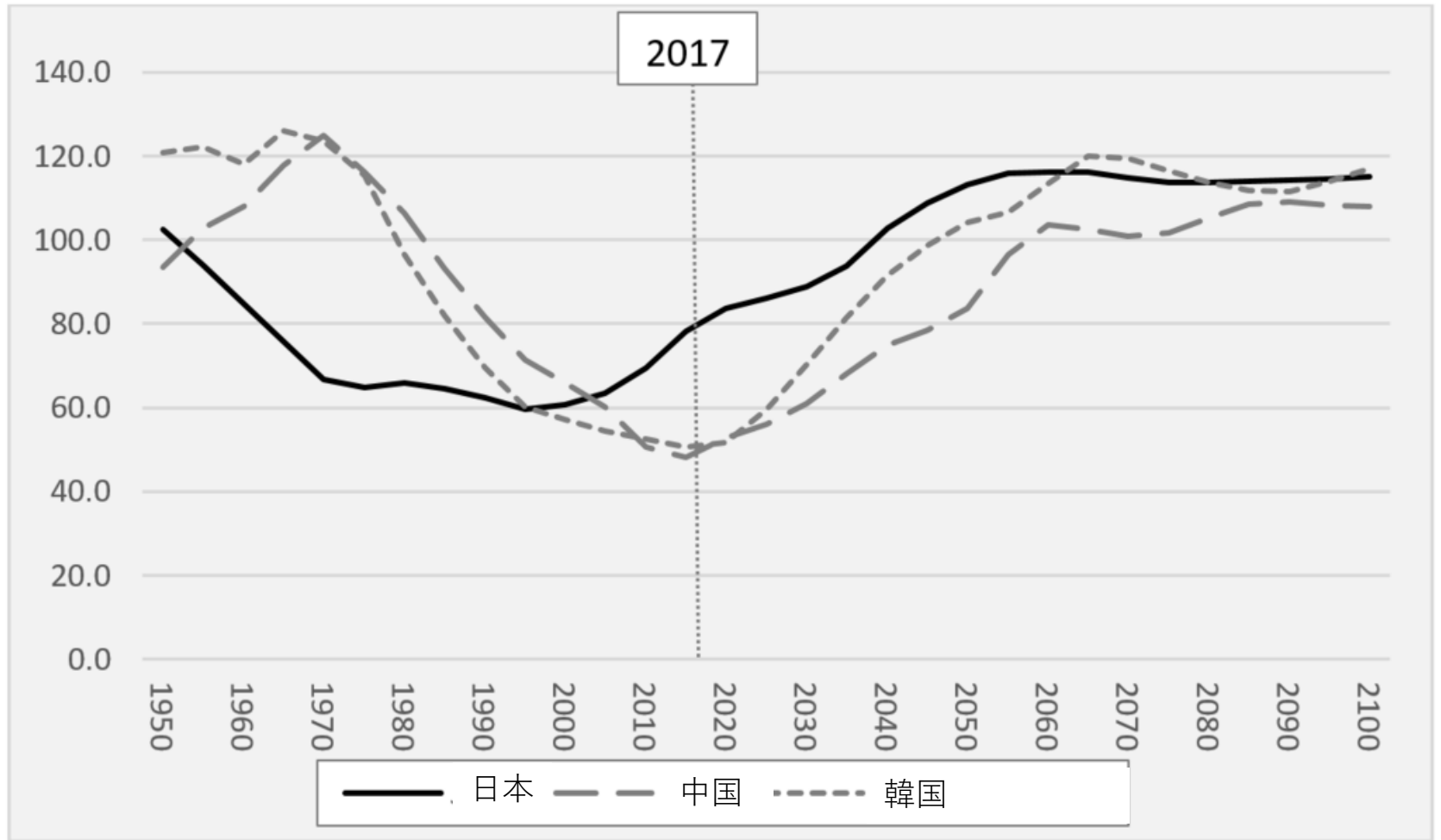


\* Source: UNDP (2015)



# 東アジアにおける子どもと高齢者の依存率

(実数と予測、%)



\* Source: UNDP (2015)

## B. 課題

- 高齢化にかかわる問題
  - － 労働力不足
  - － 高齢者扶養率の上昇
  - － 長期的な（地域や家族を基盤とする）高齢介護の欠如
  - － 医療費の増大
  - － 社会保険給付や個人貯蓄が不十分なことによる老後の貧困



## C. 解決策？

- 移民の受け入れの拡大
  - － 例えば、現在、日本の労働市場には**58.6万人**が不足しており、これから**5年後**、その数は**145万人**に増加する見込みである (AP, Nov. 2018)。労働力の不足とケアサービス需要を解決するため、日本政府は**5年間で34.5万人**の外国人労働者を受け入れる予定である。
- 欠点
  - － 移民労働者が一時的のみに必要である、という前提での外国人労働者の受け入れの施策施行は、根本的な解決策にならない。
  - － 近視眼的な移民労働者政策は労働者の搾取と人権問題を起こしがちである。
  - － 外国人労働者／移住民を社会に統合させる仕組みがない（多文化主義が不足している）

## D. 市民社会団体（CSO）の役割

- 移民労働者の社会的な統合を促進させる主役として、各国の市民と社会政策を形成するため、社会的な資源を動員または組織化させる。
- 外国人労働者向けの伝統的な政策アプローチに対する市民社会団体のレジリエンスと抵抗は社会福祉政策の将来に影響を及ぼしていく要因であると考えられる。

## 生産主義的福祉：類型と展望

- 東アジアにおける政策対応の持続的な相違は、社会政策研究にとって興味深い疑問をもたらした。→ 生産主義的福祉の3類型
- しかし、継続的な経済成長の必要性と人口構成管理の必要性の間にどのようにバランスが取れるかは、これからの議論に影響を及ぼすであろう。
- 特に日本や台湾などの包摂型生産主義的社会にとっては、多文化の政策と組織を通じて、移民労働者／移住者の社会的な統合を促進させることが重要な課題である。

ご清聴、ありがとうございました

**Myoung-Shik (Mason) Kim, Ph.D.**

Assistant Professor of International Studies  
Spelman College, USA

February 2, 2019